

宮城北部森林管理署	
タイトル	栗原市復興ふるさと植樹活動
実施年月日	平成25年10月5日(土)
実施場所	宮城県栗原市深山岳国有林21に10林小班(栗原市栗駒耕英地区)
参加者	局署：宮城北部森林管理署 24名 外部：(独)森林総合研究所森林農地整備センター-東北北海道整備局、 宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所、栗原市、 耕英地区振興協議会、栗駒の自然を守る会 NPO法人森林との共生を考える会 57名 計 81名
<p>【取組の概要】 平成20年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震は栗駒の山間地域に甚大な被害をもたらしました。 被災前の動物たちの行き交う多様性のある豊かな森林を早期に再生するため、ボランティアの協力の下、地元の樹木による植樹活動を実施したものである。 岩手・宮城内陸地震では、山地崩壊が発生し、人々の生活の場が失われるとともに、動物たちが自由に行き交う貴重な緑も失われました。 この活動は、地震前の豊かな自然を取り戻すため、NPO団体等と共催で被害の大きかった栗原市栗駒の耕英地区で4年前から行っているものです。</p>	
<p>【取組の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 今年度は、ブナ・イタヤカエデ・ミズナラ等の山取木及び種子から育てた苗木200本を植栽することが出来た。 植栽箇所は、土砂崩壊復旧工事箇所で粘土質の堅密土壌となっており、パーク・化成肥料をもちいて植栽するとともに、今年度は、昨年度に広葉樹材のチップを用いて土壌改良を試みた箇所に植栽を実施した。 参加者に治山事業の重要性と国有林野事業のPRが出来た。 	
<p>【出された意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 参加者からは、将来が楽しみ。 植栽箇所が一面の緑の林になればいい。 この箇所で引き続き植樹活動を行いたい。等の意見が出された。 	
<p>【今後の課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 活着率・成長量については、NPOが調査しているが、あまりかんばしくない状況にあるため、更新・保育技術の確立が必要。 種子採取は年の天候に左右されるため、植栽本数を確保するのが難しい。 植栽場所の確保 	

タイトル 栗原市復興ふるさと植樹活動



ふるさと植樹活動、多くのボランティアが参加



ブナを植樹する参加者

標柱の埋設

記念写真

